

整理番号	2020M-	102	補助事業者名	地方独立行政法人山口県 産業技術センター	事業項目名	スパーク放電発光分光分析装置
------	--------	-----	--------	-------------------------	-------	----------------

別紙 JKA補助事業 2020年度 事前計画／自己評価書(4/5)

5. 補助事業の自己評価

作成日	2021	年	3	月	3	日	作成者	稲田和典
-----	------	---	---	---	---	---	-----	------

(a) 個別項目評価

●個別の評価項目について、事前計画／自己評価書(3/5①②) 4. 事前計画 に対する達成状況等を把握し、分析・評価してください。					採点
(1) 受益者 (ニーズ)	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)				
(2) 事業内容	機器仕様等の審査会にやや時間を要したが、その後の制限付き一般競争入札等を順調に行い、予定どおり令和2年12月にスパーク放電発光分光分析装置を導入することができた。導入後は、関係職員向けのトレーニングを行い、当センターの開放機器利用システムに登録を行い、技術相談、開放機器、試験研究等の支援サービスを開始した。ホームページへの掲載やリーフレット作成配布等で機器紹介を行い広報に努めた。利用者に対してはアンケート調査を行い、満足度や要望等の把握を行っている。				
事業の新規性または継続の必要性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)				採点
事業の発展性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)				採点
実施計画・体制	入札、契約等を行い、予定どおり令和2年12月に導入することができた。計画どおり、開放機器等の支援サービスが開始できており、実施計画・体制は妥当であった。				4
(3) 達成目標	事業の実施結果	[達成値] 令和2年12月	[達成状況] 100%	[具体的内容] 予定どおり令和2年12月に導入(納入・検収)できた。	4
	事業の成果・波及	[達成値] 1: 21時間/月 2: 100% [満足及びほぼ満足が5社(調査数5社)]	[達成状況] 1: 105% 2: 125%	[具体的内容] 1: 利用時間は目標を超えることができた。 2: 利用者の満足度は目標値を超えており、地域企業への波及効果は十分あったと考える。	4
(4) 情報発信	事業の実施結果	[達成値] 1: 148部 2: 1回 3: 3回	[達成状況] 1: 148% 2: 100% 3: 100%	[具体的内容] 1: 機器紹介のリーフレットを148部配布した。技術相談室受付、研究会等で配布し、受益者である地域の企業等へ周知ができた。 2: 導入時に、当センター職員に対し電子メールによる機器案内及び機器説明会を実施した。 3: JKA補助対象機器専用ページの作成、HPの新着情報への掲載、HPの開放機器ページへの掲載。	4
	競輪・オートレース補助金による事業であること	[達成値] 1: 148部 2: 4箇所 3: 3回	[達成状況] 1: 148% 2: 133% 3: 100%	[具体的内容] 1: 当センターで刊行しているリーフレットにJKAのマークとオートレースの補助事業を受けて導入したものである旨を記載し、148部配布した。 2: JKAのポスターを補助対象機器を設置している2部屋入口、玄関ロビー1箇所、技術相談室受付付近1箇所の計4箇所へ掲示した。 3: JKA補助対象機器専用ページの作成、HPの新着情報への掲載、HPの開放機器ページへの掲載。	5
(5) 自己評価の体制	令和3年3月3日に評価委員会(理事長ほか9名で構成。委員長は理事長)を開催し、成果の目標、達成状況等について評価を行った。(評価過程の記録として議事録を添付する。)評価結果は当センターHPに掲載予定である。				4

(b) 総合評価

総合 評価点	4
-----------	---

●(a) 個別項目の評価から実施状況等を振り返り、事業全体を評価してください。	
(1) 事前計画 (2/5)記載の「補助事業の直接的な目的」を踏まえた、事業全体についての意見・所感	現有の同類機器は老朽化で不具合が多発し、企業支援業務に支障を来している状況であった。早期導入への期待や機能向上について企業からの問い合わせがあるなど、地域企業のニーズに合った機器を導入してきたと考えている。コロナ禍にも拘わらず想定どおりの利用状況であり、地域の機械振興に資する効果が高いと考えている。
(2) 優れている点・課題、改善すべき点	【優れている点】要望申請に先立ってアンケート調査、企業ヒアリング等を行い、県内企業のニーズを把握した上で必要性の高い機器を導入している。導入後は情報発信を積極的に行うなど、機器利用に努め、県内企業における地域イノベーション及びものづくり技術の高度化・ブランド化、技術課題解決の達成に寄与している。 【課題・改善すべき点】導入も順調に進み、導入後も、想定どおりの利用状況であり、特に課題や改善すべき点は見当たらないが、引き続き、利用の増加や運用の改善に努める。
(3) その他、アピールしたい点、是非知ってもらいたい点	導入した機器は、金属成分分析評価において、現有の同類機器と比較して、煩雑な前処理が不要となり、使い易いものとなった。加えて、多元素同時分析や鋼種判定も可能となる等、より効率的・効果的な試験評価環境が提供でき、県内企業のイノベーションの創出やものづくり技術の高度化等に大きく寄与できる。

【公設[機械設備]

整理番号	2020M-	102	補助事業者名	地方独立行政法人山口県 産業技術センター	事業項目名	波長分散型蛍光X線分析システム
------	--------	-----	--------	-------------------------	-------	-----------------

別紙 JKA補助事業 2020年度 事前計画／自己評価書(4/5)

5. 補助事業の自己評価

作成日	2021	年	3	月	3	日	作成者	稲田和典
-----	------	---	---	---	---	---	-----	------

(a) 個別項目評価

●個別の評価項目について、事前計画／自己評価書(3/5①②) 4. 事前計画 に対する達成状況等を把握し、分析・評価してください。					採点
(1) 受益者 (ニーズ)	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)				
(2) 事業内容	機器仕様等の審査会にやや時間を要したが、その後の制限付き一般競争入札等を順調に行い、予定どおり令和3年1月に波長分散型蛍光X線分析システムを導入することができた。導入後は、関係職員向けのトレーニングを行い、当センターの開放機器利用システムに登録を行い、技術相談、開放機器、試験研究等の支援サービスを開始した。ホームページへの掲載やリーフレット作成配布等で機器紹介を行い広報に努めた。利用者に対してはアンケート調査を行い、満足度や要望等の把握を行っている。				
事業の新規性または継続の必要性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)				採点
事業の発展性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)				採点
実施計画・体制	入札、契約等を行い、予定どおり令和3年1月に導入することができた。計画どおり、開放機器等の支援サービスが開始できており、実施計画・体制は妥当であった。				4
(3) 達成目標	事業の実施結果	[達成値] 令和3年1月	[達成状況] 100%	[具体的内容] 予定どおり令和3年1月に導入(納入・検収)できた。	4
	事業の成果・波及	[達成値] 1: 102時間/月 2: 100%[満足及びほぼ満足が9社(調査数9社)]	[達成状況] 1: 340% 2: 125%	[具体的内容] 1: 利用時間は目標を大きく超えることができた。 2: 利用者の満足度は目標値を超えており、地域企業に対する波及効果は十分あったと考える。	5
(4) 情報発信	事業の実施結果	[達成値] 1: 148部 2: 1回 3: 3回	[達成状況] 1: 148% 2: 100% 3: 100%	[具体的内容] 1: 機器紹介のリーフレットを148部配布した。技術相談室受付、研究会等で配布し、受益者である地域の企業等へ周知ができた。 2: 導入時に、当センター職員に対し電子メールによる機器案内及び機器説明会を実施した。 3: JKA補助対象機器専用ページの作成、HPの新着情報への掲載、HPの開放機器ページへの掲載。	4
	競輪・オートレース補助金による事業であること	[達成値] 1: 148部 2: 4箇所 3: 3回	[達成状況] 1: 148% 2: 133% 3: 100%	[具体的内容] 1: 当センターで刊行しているリーフレットにJKAのマークとオートレースの補助事業を受けて導入したものである旨を記載し、148部配布した。 2: JKAのポスターを補助対象機器を設置している2部屋入口、玄関ロビー1箇所、技術相談室受付付近1箇所の計4箇所へ掲示した。 3: JKA補助対象機器専用ページの作成、HPの新着情報への掲載、HPの開放機器ページへの掲載。	5
(5) 自己評価の体制	令和3年3月3日に評価委員会(理事長ほか9名で構成。委員長は理事長)を開催し、成果の目標、達成状況等について評価を行った。(評価過程の記録として議事録を添付する。)評価結果は当センターHPに掲載予定である。				4

(b) 総合評価

総合 評価点	4
-----------	---

●(a) 個別項目の評価から実施状況等を振り返り、事業全体を評価してください。	
(1) 事前計画 (2/5)記載の「補助事業の直接的な目的」を踏まえた、事業全体についての意見・所感	現有の同種機器は老朽化で測定精度の悪化や不具合が多発し、企業支援業務に支障を来している状況であった。早期導入への期待や機能向上について企業からの問い合わせがあるなど、地域企業のニーズに合った機器を導入できたと考えている。コロナ禍にも拘わらず想定を大きく上回る利用状況であり、地域の機械振興に資する効果が高いと考えている。
(2) 優れている点・課題、改善すべき点	【優れている点】要望申請に先立ってアンケート調査、企業ヒアリング等を行い、県内企業のニーズを把握した上で必要性の高い機器を導入している。導入後は情報発信を積極的に行うなど、機器利用に努め、県内企業における地域イノベーション及びものづくり技術の高度化・ブランド化、技術課題解決の達成に寄与している。 【課題・改善すべき点】導入も順調に進み、導入後も、想定を大きく上回る利用状況であり、特に課題や改善すべき点は見当たらないが、引き続き、利用の増加や運用の改善に努める。
(3) その他、アピールしたい点、是非知ってもらいたい点	導入した機器は、金属、無機、有機材料の成分分析評価において、現有の同種機器と比較して、試料の下面側に加えて上面側からもX線の照射が可能となり、バルク試料から粉末や液体まで幅広い形態の試料測定が可能となり、より効率的・効果的な試験評価環境が提供でき、県内企業のイノベーションの創出やものづくり技術の高度化等に大きく寄与できる。

【公設[機械設備]